

## 東北大会ニュース

—NO. 2—

—TOHOKU—B6



9/26~9/27

開催

&lt;全国身体障害者施設協議会&gt;

## 第46回全国研究大会東北大会



公式X (旧Twitter)



山形県



宮城県



福島県



青森県



岩手県



秋田県

【東北ブロック身障協・シンボルマーク】

## TOHOKU-B6(SIX)



シンボルマークの意味

1. 太陽・月・人と人・笑顔・支え合う姿・相互関係・東北6県(6つの太陽フレア)をイメージしている。
2. 支え合う姿、相互関係は正しく「ケア」の本質で「ケア」に携わる仕事に相応しい。相互関係は常に入れ替わりながら関係を作り上げていくもの。一方的な関係ではない。すなわち人と人が手を取り合い、調和し共に生きる社会を示している。
3. 太陽も月も人々にとって不可欠のもの。太陽は昼、月は夜にすべての人々(障害の有無に関係なく)を平等に照らし、相互補完(それぞれに役割をもって)しあっている。太陽は熱き心、明るさをイメージさせ、生命の根源である。月は闇夜で足元を照らす道をイメージさせる。明るい時(良い時)も暗い時(悪い時)もそれぞれが役割を持ち照らすイメージ。

今回の全国研究大会で**青森県**は「研究発表・実践発表」の担当を致します。各発表では実践力の向上に向けて発表者が発表しやすい環境作り、参加者が情報共有しやすい環境作りを心掛け準備しています。現段階では、プログラム案を作成し円滑に進むかを確認する作業や各発表会場で進行などを行う方への依頼などを行っています。9月の大会まであと2ヶ月！皆様が気持ちよく発表・参加できる様準備していきますので、よろしくお願い致します。

**秋田県**は主に初日、開会式以降のスケジュールを担当しています。スムーズな進行になるよう、秋田県内各地の7施設から集まった精鋭で作業部会を立ち上げました。わきあいあいと作業中です。いよいよ本番が近づいてきましたが、いい緊張感のなか、チームワークで乗り切っていきます！！

**岩手県**には、8法人9つの身障協加盟施設があり(今年度1施設が加わり10施設となりました)、9名(各施設1名)の作業部員+実行委員3名で作業部会を実施しております。岩手県作業部会では、岩手県単独で①感染対策、②大会2日目のお弁当について、宮城県の作業部員の皆さんと合同で①会場の安全対策/救急対応、②会場設営/会場内誘導/案内、③トイレの使用法/ゴミ類の取り扱いなど幅広い内容を担当しております。東北に来て良かったと思って頂けるよう準備を進めておりますので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

**山形県**の担当は、「受付・展示・販売」となっております。現在、細部まで確認し、マニュアル等の作成を試み、来県された方々に敬意と配慮ある受付対応ができるよう準備を進めております。また『自身の施設が災害にあったら準備はできていますか?』というテーマを基に、防災パネルの設置と企業様の誘致、更には、東北ならではの授産品販売ができるよう関係機関の方と協働させていただいております。来たる全国大会にて、当日、お会いできるのを楽しみにしています。

今回の研究大会は、東北6県合同で全国の皆様を「おもてなし」いたします。うち**宮城県**では、各ターミナルからのご案内にはじまり、会場の設営及び会場内のご案内そして各会場で必要となる機材備品の確保また、感染対策や救急対応について県内各施設と力を合わせ、全国の皆様が何かひとつでも心に残る大会を目指し、準備を進めているところです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

**福島県**は、大会初日18:50分からの情報交換会を担当させていただきます。今年の情報交換会のアトラクションは「仙台・青葉まつり」など様々なまつりやイベントで披露されている「仙台すずめ踊り」を地元舞踊団体の皆様にご披露頂く予定です。また、情報交換会参加者の方にも途中から踊りに加わってもらおう予定ですので、どうぞ皆様、気軽にお囃子にあわせ、踊りの輪に入って一緒に盛り上がりましょう！

★全国の皆様をお迎えするにあたり、**大会本部**は東北6県の役割を一本化し研究大会が円滑に進むことができるような体制を考えております。参加者の皆様及安全・安心に会場である仙台の地で、充実した時をお過ごしいただけるよう、おもてなしをさせていただきます。スタンプラリーなどの企画も考えており、今までにはない楽しみもあるおもてなしの検討を重ねております。東北にちなんだ景品もご準備させていただきますので、ぜひご参加をお待ちしております。

都道府県	会員施設名	発表タイトル
宮城県	只越荘	生活支援におけるリスク軽減への取り組み ～8カ年の内容と対策・対応からの考察～
山口県	鼓澄苑	褥瘡対策への取り組み
北海道	ケアセンター栄町	障がい者施設の高齢化への対応 ～穏やかな生活をおくるために～
岩手県	四季の郷	楽しく推し活 ～推し活を楽しみながら地域社会へ参加～
茨城県	さくら苑	看取り教育による介護職の意識変化 ～経験を学びに替えて～
静岡県	静岡市桜の園	自分の力でタンスの衣類を片付けられるように ～相互関係強化モデルの支援～
千葉県	永幸苑	防災に関する取り組み、設備について
福島県	南東北さくら館	接遇マナー ～スマイルレッスンを取り入れよう～
秋田県	愛光園	ご利用者本位の地域住民としての生活の実現をめざして ～障がい者支援施設 愛光園の取り組みについて～
群馬県	青空	同じ過ちを繰り返さないために ～利用者が安心して過ごせる施設作り～
徳島県	徳島県赤十字ひのみね医療療育センター	一人ひとりの思いを伝えるために ～エンディングノートの聞き取りを振り返って～
福岡県	カーサ陽だまりの里	現場職員を巻き込んだ『元気！陽だまりプロジェクト』の取り組み ～「ココで働きたい」を実現するために～
静岡県	聖隷厚生園信生寮	食事を楽しみたい ～普通の食事が食べたいんだ～
宮城県	亘理ありのまま舎	地域生活支援拠点設立から5年間の経過と課題 ～更なるケアコミュニティの実践に向けて～
岩手県	太陽荘	当法人のリハビリ・介護教室の取り組みについて ～健康寿命の延伸をめざして～
大阪府	梅の里ホーム	『私たちはこんな風に生活したい！』を一緒にみつける過程～グループホームでの暮らしを学び合う～
熊本県	愛隣館	意思決定支援とピアサポート ～あいさつからはじまるエンパワメント～
大阪府	くりのみ寮	人材育成 ～新人・後輩教育について～
埼玉県	大地	日々動かなくなっていく体への苛立ちや葛藤への理解 ～進行性の障害とどう向き合い、理解し、支援につなげていくか～
宮城県	啓生園	内に秘めたニーズを具体化する取り組み
福井県	金津サンホーム	自立支援に向けて ～希望する生活のために～
群馬県	あけぼのホーム	初めての海外勤務 ～痛みが先、喜びは後から～
香川県	真清水荘	終の栖 ～施設で最期を迎える～
青森県	千年園	虐待防止に向けた取り組み ～虐待防止アシスタントマネジャーとふわっと（FWAT）の活動～
愛知県	戸田川グリーンヴィレッジ	ぼくらしく暮らしていきたい ～父親へのアプローチを通しての地域移行～

都道府県	会員施設名	発表タイトル
東京都	楽	利用者の意思決定に沿った日中活動の取り組み
宮城県	太白ありのまま舎	安全な経口摂取のための多職種連携した取り組み ～食事の拒否が強かった入居者への介入～
宮城県	太白ありのまま舎	身体拘束のその先へ ～個々を見つめて～
宮城県	太白ありのまま舎	多職種連携による意思決定と自己実現に向けて ～QOLとADLにつながる看護の取り組み～
宮城県	太白ありのまま舎	ケアの質向上への取り組み ～尊厳と根拠のあるケアを目指して～
宮城県	太白ありのまま舎	災害対策と持続可能な支援を支える（BCP～ACM）
石川県	青山彩光苑水ライフサポートセンター	能登半島地震、共に前に進むには ～震災1日目からの格闘～
大阪府	地域生活支援センター光	経口摂取の希望に応える一つの在り方 ～明暗を分けた喉頭分離手術～
山形県	すげさわの丘	地域と共に生きる社会を目指した取り組み ～支え合う地域を目指して～
北海道	滝上リハビリセンター	高齢化に伴う病理的骨折予防の取り組み

## 第46回全国身体障害者施設協議会研究大会 発表施設一覧 ～ 研究発表 ～

会場	研究発表タイトル	発表施設名
第1会場	北海道ブロック 調査・研究委員会の取り組みについて～ 私たちが実践する地域貢献活動 好事例集 北海道 Ver. ～	北海道 北海道ブロック 調査・研究委員会
	令和6年能登半島地震「被災施設支援活動から見えてきた諸課題～ 我がごととして捉え、備える！ ～（東海北陸ブロックの取組より）	静岡県 清松園
第2会場	施設入所後の親子の不安を安心に変える取り組み ～ 親亡き後を見据えた支援 ～	群馬県 イシノ療護園
	皮膚トラブル改善に向けた福祉用具の活用と効果 ～ ご利用者のQOL向上を目指して ～	高知県 オイコニア
第3会場	厳しい状況における新卒採用と、定着・育成について～ 継続し安定した新卒採用(実績5～10名)を目指して～	兵庫県 希望の家グリーンホーム
	虐待防止・権利擁護の組織風土づくりと意思決定支援ガイドラインの作成	熊本県 愛隣館



青森県・いくべえ

青森県は、ユニークで美味しいB級グルメの宝庫です。まず、青森市の「味噌カレー牛乳ラーメン」は、味噌、カレー、牛乳が絶妙に調和した一杯で、地元民に愛されています。黒石市の「黒石つゆ焼きそば」は、ソース焼きそばに温かい和風出汁をかけた独特の味わいが特徴です。十和田市の「バラ焼き」は、甘辛いタレで炒めたバラ肉と玉ねぎが絶品で、B-1グランプリでも高評価を得ています。さらに、中泊町の「中泊メバル膳」は、新鮮なメバルを使った豪華な一膳で、地元の味覚を堪能できます。青森県のB級グルメは、訪れる人々に驚きと満足を提供すること間違いなしです。

岩手県は本州北東部に位置し、本州で一番の広大な面積を持ち、山、海との大自然に恵まれています。岩手県花巻市出身の童話作家 宮沢賢治氏の造語「イーハトーブ」(心象世界の理想郷を指す)は岩手県をモチーフにしていると言われております。岩手県のゆるキャラは「わんこきょうだい」です。「わんこきょうだい」は「そばっち」、「こくっち」、「とふっち」、「おもっち」、「うにっち」の5人兄弟でそれぞれ中身が違います。岩手で人をもてなす象徴とされる「わんこそば」と国内漆生産量日本一を誇る漆を使った「漆器」の2つを掛け合わせたメインキャラクターが「そばっち」です。[わんこきょうだい \(iwatetabi.jp\)](http://iwatetabi.jp) おすすめ観光地として、雫石町にある小岩井農場を紹介します。小岩井農場は明治24年創業の歴史ある農場です。開放感あふれる広大な農場で、動物たちとのふれあいや手作り体験/アクティビティ、美味しいグルメなど目的別に楽しめる場所となっています。[小岩井農場 \(koiwaifarm.com\)](http://koiwaifarm.com)

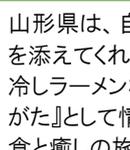


岩手県®わんこきょうだい



宮城県・むすび丸

宮城県は風光明媚な観光地が沢山あります。最近では外国の方中心に宮城蔵王キツネ村がバズっていますが、宮城県(宮沢)実行委員の おすすめポイントは何と言っても伊達政宗公の騎馬像がある青葉山公園です。本丸跡からは市内や太平洋まで展望でき、夜間には騎馬像がライトアップされ100万都市仙台の夜景を楽しむこともできます。会場ホテルからも近く最寄りの地下鉄駅もございますので、ご参加なさる皆様は是非立ち寄ってみてください。また、観光PRキャラクターのむすび丸はおむすびの形となっているくらい宮城は米どころです。お米ですが牛タン他美味しい食べ物も沢山ありますのでご堪能下さい。



山形県・きてけろくん

山形県は、自然豊かな土地ですが、それぞれの季節が持つ美しさや楽しみが、山寺や蔵王などの有名観光地に彩りを添えてくれます。また、食の魅力もあり、さくらんぼや芋煮、米沢牛などは有名ですが、玉こんにやくやどんぶり焼き、冷ラーメンなどの絶品ご当地グルメも沢山あります。更には、ラーメンとそばの消費量から『ラーメン県そば王国やまがた』として情報発信をしている県です。名湯・秘湯があちこちにある『温泉王国山形県』で温泉に入り、日常を忘れる食と癒しの旅をしませんか？さくらんぼのブローチの付いた麦わら帽子をかぶり、山形のおいしいものが詰まった旅行バッグを持った県のゆるキャラ「きてけろくん」と、深呼吸したくなる自然の中で皆様をお待ちしております。



秋田県・んだッチ

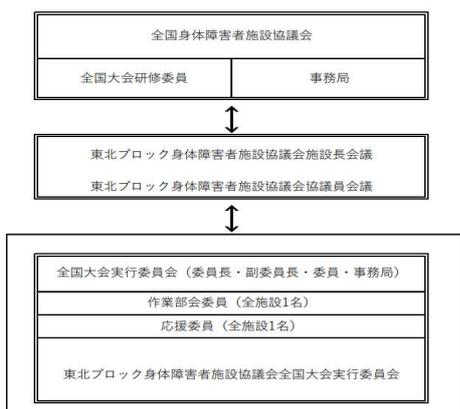
秋田といえば・・・「なまはげ」が第一印象でしょうか！？秋田県のPRゆるキャラは、なまはげがモチーフで「んだッチ」といいます。秋田弁で「そうです」を意味する「んだ」から名前をつけたんでしょうね。そのほか、竿灯、かまくら、あきた犬、あきたこまち、サキホコレ、稲庭うどん、しょつつる、きりたんぼ、うまい日本酒いろいろ、秋田美人ほかたくさん。「じゅんさい」の産地、三種町では、じゅんさいは鍋で食べるのがメジャーです(これがうまい!)。観光資源や食材も豊富な秋田ですが、男鹿半島の磯釣りや、米代川のサクラマス釣り、日本一の深さを誇る田沢湖の近く、高山植物の宝庫秋田駒ヶ岳の通称「ムーミン谷」など大自然アクティビティーも注目なんです。



キビタン©福島県

福島県の愛されキャラクターの「キビタン」は、福島県の鳥「キビタキ」をモチーフに福島県復興シンボルキャラクターとして生まれました。ハッピーアイランド福島県に住む幸福の黄色い鳥「キビタン」は、キビタンファミリーと共に、子供達にも人気のキビタン体操などはじめ、県内外各地で元気に復興に向け活躍しています。頭のアンテナで福島「魅力」と「今」を発信しています。見かけたら是非声をかけてくださいね。また福島県は全国で第3位の大きさを誇る県で、会津地方、中通り、いわき地方と山から海まで自然と果物や海産物・地酒等食文化、温泉、更に首都圏まで新幹線で1時間半と立地に恵まれています。観光地も難攻不落の名城「鶴ヶ城」はじめ茅葺き屋根集落「大内宿」、フラガールで有名な「スパリゾートハワイアンズ」、シーラカンスで有名な「アクアマリン水族館」、名勝として「猪苗代湖」や「吾妻小富士」、「あぶくま洞」、「南湖公園」、「五色沼」、「滝桜」など県内数えきれない観光スポットがあります。温泉や地元食材、地酒とともに是非お楽しみください。

### <体制>



### お問い合わせ

022-281-1200

Email: arimama@beach.ocn.ne.jp

http://www.touhoku-b-shinsyokyo.com/



公式 X



東北ブロックHP